

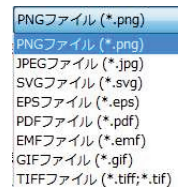
印刷用の画質で画像を保存 – Windows

この資料では、JMP の Windows 版で印刷用の画質で画像を保存する方法をご紹介します。JMP の Mac 版で印刷用の画質で画像を作成する方法については、[印刷用の画質で画像を保存 – Mac](#) をご確認ください。通常の出力の保存方法に関しては[結果の保存](#)の内容をご確認ください。

画像の保存

1. JMP の出力ウィンドウから、ツールバーで**選択ツール**をクリックするか、もしくはキーボードのショートカット (S)を使用してください。
2. コピーしたいコンテンツをクリックしてください。選択されたコンテンツが強調表示されます。レポートの端の近辺をクリックすると全コンテンツが選択されます。選択範囲を拡張するには、shift キーを押した状態でクリックします。
3. **編集 > 選択部分を保存**を選択します。
4. (ウィンドウの下部にある)**ファイルの種類**から、使用したいグラフィック形式を選択します。

印刷物(プレゼンテーション、論文等)に関しては、**EMF**(enhanced metafile)のようなベクタ画像が推奨です。この形式は透明度を保持し、画像編集ソフトウェアで編集可能で、鮮明さを失うことなく拡大、サイズ変更が可能です。

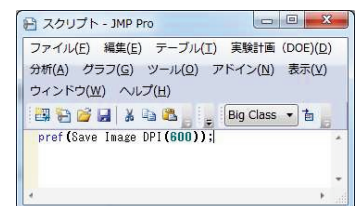


5. ビットマップ形式 (PNG、JPG、GIF、もしくは TIFF) を選択した場合、高解像度にするために**イメージ DPI 設定**を 300 に変更します。
6. ファイル名を入力し、保存先フォルダを指定して、**保存**をクリックします。
注意: アクティブなウィンドウの全出力を保存するには、**ファイル > 名前をつけて保存**を使います。グラフィック形式に加え数種類の形式が利用可能です。

JMPジャーナル (*.jmn)
JMPレポート (*.jrp)
テキストファイル (*.txt)
データを含むインタラクティブHTML (*.htm;*.html)
HTMLファイル (*.htm;*.html)
RTFファイル (*.rtf)
Microsoft Word 2000+ (*.doc)

ビットマップ画像のデフォルト解像度の変更

1. JMPで**ファイル > 新規作成 > スクリプト**と進みます。
2. 次のコードをこのウィンドウにタイプします: `pref(Save Image DPI(600));`
3. 右クリックして、**スクリプトの実行**を選択します。



この操作で、デフォルト値を変更するまで全ての保存されるグラフィックの解像度のデフォルト値が 600 (もしくは括弧の中に記入した数値) に変更されます。

ヒント:

- グラフィック形式で保存する前に JMP でグラフを編集してください。例えば、グラフの枠・マーカーのサイズや色の変更や、軸や凡例・タイトルの編集を保存前に実施してください。
- Microsoft Office 製品にコピー&ペーストする場合、出力をベクタ画像としてペーストするため**形式を選択して貼り付け > 図(拡張メタファイル)**を使用してください。
- EPS ベクタ形式はグラフの透明度を保持しません (EMF は保持します)。
- OpenGL を使う JMP のレポート要素 (曲面、三次元散布図) はベクタ画像で出力できません。

注意: 印刷用グラフィックの作成の推奨やサポート対象のグラフィックやレポート形式に関する情報については [Print-Ready Graphics from JMP](#) を参照するか、**JMP のヘルプのレポートの保存と共有**を確認してください。